

講義名	教養特講 (東洋史)			授業形態	
担当教員	小野 達哉	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

「部門別中国通史」、中国の歴史について、文明・社会・政治・経済・外交をテーマとして、それぞれジャンル別に講義する。10世紀から19世紀にかけての中国は、伝統中国あるいは近世中国と呼ばれ、現在までつく社会・文化の原型が形作られた時代である。この講義では、こうした中国社会の文化・伝統のあり方について、部門別の講義を通じて、全体的・通時的に学んでいく。またこれに加えて、中国は経済的・文化的な先進地域として、周辺諸国との交流を通じ、東アジア文化圏を長きにわたって形成してきた。この講義ではさらに、中国と東アジア諸国の関係性に着目して、当時の対外関係の枠組み・文化交流のあり方についても学ぶ。これらの講義を通じて、学生諸君には最終的に、中国の伝統的歴史像について、掘るようになってほしいと考えている。そして、それは現代中国のイメージまでつながって行くはずである。

到達目標

中国史の基本事項について理解し説明できる。
東アジア史上の文化交流について理解し説明できる。
中国の文化と伝統について理解し説明できる。
現代の中国像について理解し説明できる。

提出課題

毎回授業時に実施する小テスト

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業時におこなう小テストで、学生の講義の理解度を確認し、それに必要に応じてコメントを付けて返却するつもりである。

評価の基準

毎回授業時の平常点と、期末試験の総合評価とする。毎回授業時の課題提出だけでなく、学期末に定期試験を実施するので、その旨注意されたい。

履修にあたっての注意・助言他

この講義は予備知識は必要としないので、その点は安心して受講してくれてよい。ただし、東洋史に限らず、日本史・西洋史など歴史全般に関心を持ってもらいたいと思う。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

講義ではプリントを使用する。参考文献は授業時に随時指示する。

授業計画

【第1回】
テーマ：中国史における南北（1）
内容：生態史観から中国をみる
予備内容：シラカスの内容を熟読したうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第2回】
テーマ：中国史における南北（2）
内容：人の移動と南北の逆転をみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第3回】
テーマ：科挙と中国社会（1）
内容：科挙制度の概要をみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第4回】
テーマ：科挙と中国社会（2）
内容：科挙受験と社会的活動性の関係をみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第5回】
テーマ：科挙と中国社会（3）
内容：新城王氏の具体的なケースをみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第6回】
テーマ：皇帝政治と中国（1）
内容：明の洪武帝の国内政治をみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第7回】
テーマ：皇帝政治と中国（2）
内容：明の洪武帝の対外政策をみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第8回】
テーマ：皇帝政治と中国（3）
内容：明の洪武帝が国内政治で目指したものをみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第9回】
テーマ：皇帝政治と中国（4）
内容：明の洪武帝が対外政策で目指したものをみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第10回】
テーマ：中国の長期的経済変動（1）
内容：農民生活の10世紀における変化をみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第11回】
テーマ：中国の長期的経済変動（2）
内容：農民生活の16世紀における変化をみる
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第12回】
テーマ：中国の長期的経済変動（3）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

全学対象の教養科目であるため、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身に付けておくべき資質・能力」(1)～(5)の習得を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業は学生に随時発問しながら進めるが、特段ICTを活用することはない。

実務経験の有無及び活用

なし

備考

なし